

子どもたちは町の宝、大事に育てます

平成25年度新規事業 『子育て支援金』 交付

4月25日、平成25年度新規事業『子育て支援金』の初交付があり、町長をはじめ関係者らが、子育て支援室おひさまひろばを訪れました。

この日、交付を受けたのは、おがたこうすけ緒形康介ちゃん（1歳）とお母さんの崇子さん（根雨）。景山町長が「元気で大きくなってね」と手渡すと、康介ちゃんはにっこり。町からのお祝いに崇子さんは「町の子育て支援が手厚くうれしいです。康介のために大事に使いたいですね。人が温かく、豊かな自然

があるこの町に、いつまでも住み続けたいと思います」と笑顔で話しました。

子育て支援金は、少子高齢化が進む中、一人でも多くの若者が住み育てのしやすい環境づくりとして、町の宝である子どもたちの成長を祝い、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てに役立ててもらおうと、1歳から3歳までの誕生日を迎える子どもの保護者に、三万円を交付するものです。支援金は、毎月、誕生月に町長から手渡します。



町長から支援金を受け取る康介ちゃん（中）

会場全体ノリノリに

春つららコンサート



H2O3の皆さんのすばらしい演奏や歌に酔いしれる

春のうらかな日差しが差し込む町文化センターホワイエで、4月28日、ホールと共に歩む会（木島泰会長）主催の「春つららコンサート」が開かれ、町内外から80人が来場し、ジャズやポピュラーなどを楽しみました。

今回は、町内で飲食店を営む太枝一正さん（野田）の弟で、北九州市在住の太枝健二さん家族と友人の5人で結成しているH2O3エヌオーウオーエススリーの皆さんが、軽快なトークとムードある音楽で会場を沸かせました。

5人はドラム、キーボード、ベース、クラリネットなどで、観客の良く知るお馴染みの曲を演奏。会場では、観客らが手拍子や体を揺らせてリズムを取る姿が見られました。

また、演奏だけではなく、ポーカーが入ると違った雰囲気。まるでジャズバーにいるような感覚で、太枝さんらに大きな拍手が送られました。

サロンコンサートは、町文化センターホワイエを会場に開かれ、毎回好評を得ています。また、地域の集会所などで開く、出前サロンコンサートも好評です。



太枝一正さんも演奏を披露



公演に向け稽古に入る 町民ミュージカル開始式



早速稽古に入る出演者



脚本・演出を手掛ける渡邊さん

今年で12回目を迎える「日野町民ミュージカル」の開始式が、5月6日、町文化センターで行われ、出演者とその保護者ら約40人が参加しました。

まず、景山町長が「町民みんながミュージカルの公演を待っています。半年間の稽古を頑張ってください」と出演者らを激励。そして町民ミュージカル実行委員会から今回のミュージカルについて説明を聞き、緊張した表情の出演者らは、公演に向けて気持ちを引き締めました。

開始式には、第1回公募から脚本、演出などを手掛ける渡邊勝子さん（広島県三原市）や歌唱指導を行う小椋美香子さん（米子市）も出席。出演者に激励の言葉を贈り、早速、渡邊さんによる熱の入った演技指導が始まりました。

今回のミュージカルは「鵜の池 新おとぎばなし」ためらい星からやってきた旅人たち」と題し、日野町にゆかりのある登場人物たちに扮した出演者が、元気いっぱい演じます。今年も、11月10日に昼と夜の2回公演が予定されており、出演者は半年間の稽古に入りました。

キヤー、気持ちいい！歓声を上げて田植え 根雨小学校でにぎやかに田植え



田植えは楽しい！はじける笑顔

根雨小学校（唐来秀夫校長）で毎年恒例となっている、全児童による田植えが、5月7日、雲一つない青空の下、学校グラウンド横の学校田で行われました。

この日のために、総合学習で米作りを行う5年生が肥料をまいたり、保護者が田ごしらえをして準備しました。まず、神庭教頭が「米作りは88の手間をかけないといけません。その一つが田植えです。秋においしい米が収穫できるよう



腰をかがめて一生懸命苗を植える

に、心を込めて植えてください」と話すと、児童らは歓声を上げながら田んぼに入り、一生懸命苗を植えました。

また、多くの保護者や地域住民が集まり、ぬかるむ田んぼの中で悪戦苦闘する子どもたちに声援を送ったり、カメラで撮影を行っていました。

植えたのは「ヒメノモチ」で、収穫後は、児童、保護者が参加してもちつき大会が開かれます。